

桜山4丁目町内会通信

令和6年2月14日
桜山4丁目町内会
発行責任者 細川 進

<https://sakurayama-4choume.jimdo.com> 268

● 地域の安心安全の取り組み

地域の安全と防火、防犯の呼びかけを2月17日(土)20時から地域を巡回します。寒い時期ですが、ご都合のつく方は、身体を暖かくして、地域の安心安全にご協力頂きたいと思います。

地域巡回のお知らせ

- 日 時：令和6年2月17日(土) 雨天中止
20時～21時
- 集合場所：中里児童公園

● 桜山4丁目町内会のシンボリック存在の桜の古木が倒木しました

桜山4丁目の水道道にある桜の古木が本年1月1日の明け方、車の衝突により大きな裂け目が出来、その後、枝を伐採中に倒木しました。かつて水道路には桜の木が一定間隔で植えられ、春になると桜並木が大変きれいでした。これらの桜の木は道路の開発や住宅事情により次々と伐られ4丁目に1本だけ残っていました。この桜に逗子まちづくり研究会が1998年度景観賞という賞を与えられました。(根元に小さなプレートがありました)この賞は、逗子市内の美しい数々の点景とその維持に払われる所有者の努力と工夫を称えるためにボランティア団体逗子まちづくり研究会が市の補助を受けて設立したものです。この桜は昭和15年(1940年)頃に植えられたそうで平成20年(2008年)頃に傷みが目立って来たため、町内会に居られた鈴木造園さんの鈴木さんから土の入れ替えや手入れなどの協力を頂き、平成20年7月5日と6日の2日にわたり整備を行いました。以後、2月と6月の年2回町内会の有志により、施肥を行っていました。近年傷みもひどくはなってきましたが、3月にはいつも満開のきれいな花を咲かせてくれました。これから見られなくなると思うと非常に残念です。桜よありがとう。



2月の施肥



満開の桜



6月の施肥

倒木の状況は、1月 1 日午前3時頃、車が木に衝突し大きな裂け目が出来ました。その後、市や消防署の方が駆け付け、ロープでとりあえず支えて枝を伐採中に倒木しました。枝を伐採した方が怪我を負わずにおられたのは幸いでした。その後いくつか切断され、運ばれて行きました。

後日、代表の細川さんに逗子市から、造園家による状況の説明文がありましたので掲載します。



衝突後のロープでの支え



根元の亀裂



枝の伐採



倒木の様子



根元の様子

市からの説明

車両に衝突され幹が折損した様であるが、元々かなり根元や幹が腐朽しており危険な状態であったと思われる。

残された根元の周囲長で確認をすると根元周約3mに対し生きている部分がおよそ1.3mで残りの1.7mは既に枯死しており、生きている周囲長部分でも樹木を腐朽させるキノコ（コフキタケ）が発生しており内部の木材部分では腐朽が進行しスポンジ状になっているので樹体を支える事は難しい状態である。

根元付近と高さ60cm程度の個所から「ひこばえ」の発生が見られる。ひこばえを育てていけば樹形の再生は可能であるが、根元付近のひこばえは接ぎ木の際の台木（違う種類の桜）の可能性があるので高さ60cm程度の個所のひこばえを選択する必要がある。

但し、現状残った幹や根は前項の様に腐朽が進行しており60cmと高い部分で肥大成長した場合、育ったひこばえの重みで腐朽した幹が崩壊する恐れがある。

このような状況を鑑みると現地での再生を行うよりも接ぎ木等でクローンを作り他の場所で生育させることが望ましいと思われる。

